

行事報告書(ふらざこむ親子のふれあい)

報告者:多田 敬一

行事名	親子のふれあい(自然材料を使った工作)夏季版
実施日時	平成24年 7月 22日(日曜日) 10時～ 14時30分 天候:晴れ
場所	ふらざこむ1 2階(21号室)
内容 (対象者、作品名等)	①ヨシ人形、②木登りセミ、③ペンダント、④顕微鏡で観察 近隣の3歳児以上の子供を含む親子ファミリー 午前15組、午後15組を募集
参加人員	MNC 24名 ・ヨシ人形(三橋、坂本、沼田、橋、多田) ・木登りセミ(飯盛、永田(淑)、北垣、宮川(令)、笠間、水野、畑) ・ペンダント(中尾、松生、斉藤(志)、建川、木茂、西島、小童) ・顕微鏡観察(大橋、木下(晃)・(元)、松田(輝)、青山) 来場者 36名(親 12名、子供3歳～10歳 14名(内男子6名、女子8名))
状況 工作、観察	夏休みに入った2日目で、申込みも午前6組10名、午後5組11名の予定が、キャンセルもあったものの、当日参加もあり、参加者としては昨年と変わらない状況でした。 若干小さな子供達が多く、どうかな?と思いましたが。 各工作とも子供達は楽しく、工作に熱中されていました。 又、顕微鏡観察では、スタッフが準備に相当力を入れていただき、いろんなバージョンの観察があり、子供達はもちろんのこと親たちが植物や昆虫の不思議さに熱心に聞き入って居られました。
まとめ 感想	今年はこのほか暑い中、親子のふれあいは一応の成果を見ました。 子供達は出来上がった工作を大事そうに、“ありがとう”と大きな声で帰っていかれる姿は暑さを忘れる思いでした。 特に、顕微鏡観察でいろんなバージョンでの観察があり、マイクロスコープや羽化前の実物のさなぎもあり、それが動くこと不思議さなど、準備も大変と思いますが、親子共々大変喜ばれていました。 準備に大変ですが、顕微鏡観察は今後ともイベントには是非必要と感じました。 12月のイベント(冬季版)のお話をする、または是非参加しますの言葉がありました。

